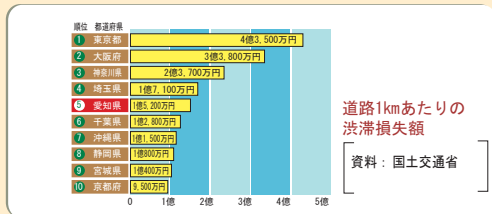


まちづくりとITS ～高度道路交通システムからまちづくりの手段へ～

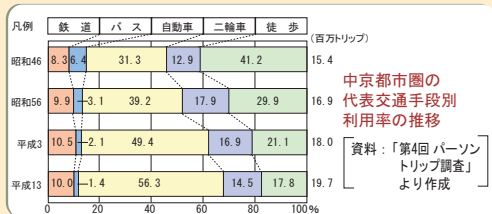
多様なサービスを可能とするITSは、従来の「高度道路交通システム(Intelligent Transport Systems)」から「賢い交通社会(Intelligent Transport Society)」を実現する手段へと発展しています。

また、ITSは、地域の課題に応じて、都市基盤(ハード)と都市政策(ソフト)をつなぐ「まちづくりの手段」であるとも言えます。

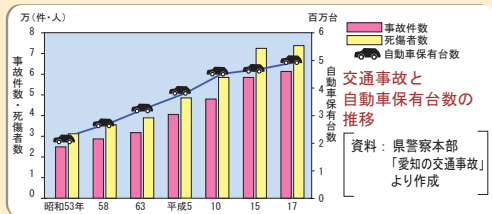
◆愛知県は道路渋滞による経済損失が多い地域です。



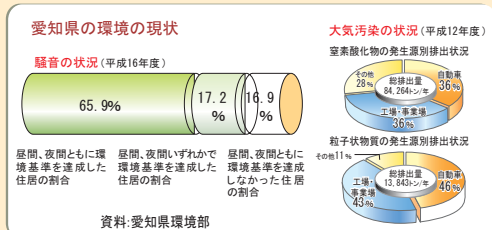
◆自動車の利用率が増加し、バス・徒歩が大きく減少しています。



◆自動車社会であることから交通事故も増加しています。



◆自動車交通は環境汚染の大きな原因のひとつです。



愛知のまちづくりの課題

道路の円滑化

公共交通の利用促進

中心市街地の活性化・観光の振興

バリアフリー化の推進

防犯・災害対策

交通事故の削減

環境への配慮

都市基盤の効率管理

まちづくり ITS 7つの視点

① 道路・駐車場の高度化支援

渋滞情報や駐車場情報を様々な情報端末機器で提供するITS

② 公共交通の支援

鉄道・バスの運行情報の提供など公共交通を便利にするITS

③ 中心市街地・観光の活性化支援

中心市街地や観光の活性化に役立つITS

④ 高齢者・障害者の移動支援

まちなかのバリアフリー情報の提供や安全な移動を支援するITS

⑤ 防犯・災害対策及び交通安全支援

防災対策や防犯対策、交通安全につながるITS

⑥ 環境負荷の低減支援

自動車交通による環境負荷を低減するITS

⑦ 都市基盤管理支援

都市基盤の維持管理コスト削減に役立つITS

まちづくりの目標

快適で質の高い移動

産業の活性化

交流の促進

安全・安心な暮らし

環境にやさしく効率的なまち

魅力と活力あふれる住みよいまちづくり